

自立活動学習指導案

自閉症・情緒障害通級指導教室（あけぼの教室）4人（3年男子2人，3年女子2人）

指導者 T1 諸平 幸奈 T2 中水 一元

1 題材名 どんな気持ち？こんな気持ち！

2 題材の目標

- 自分の気持ちを伝える活動を通して、友達や周りの人と楽しく活動できることのよさを味わうことができる。
- 自分がどうしてそのような気持ちになったのか理由を考えることで、自分の気持ちを理解することができる。
- 自分の気持ちを、表情と言葉で相手に分かりやすく伝えることができる。

3 題材について

(1) 題材の価値

対象となる子ども4人は、これまでの学習を通して、あけぼの教室の友達と交流しながら、一緒に活動することの楽しさを感じたり、言葉で自分の考えを伝え合うことのよさを感じたりしてきている。しかし、活動の途中で友達や教師に自分の言動について指摘されたり、自分の思い通りにならなかったりしたときには、大きな声で泣いたり、活動に意欲的に参加できなくなったりすることがある。また、自分の気持ちをどのように表現すればよいのか分からず、席を離れて教室を動き回るなどの行動で表現してしまうこともある。さらに、困っている状況を言葉で伝えることができず、相手に理解してもらえないということもある。

そこで、本題材では、自分はなぜそのような気持ちになったのか理由を考えることで、自分の気持ちを理解できるようにする。その際、「落ち着いて」、「はっきりと」、「相手を見て」という三つのポイントを使って、表情と言葉で相手に分かりやすく伝えることができるようにする。また、その場に応じた自分の気持ちを表情と言葉で伝えることで、相手に自分を理解してもらい、楽しく活動できることのよさを味わうことができるようにする。このことにより、在籍学級や家庭で、自分の気持ちを自分で理解し、相手に分かりやすく伝え、楽しく活動したり、自分の気持ちをコントロールしたりすることができるようになることにつながるようにする。

指導に当たっては、気持ちを伝えられていない場面と「表情」と「言葉」（気持ちを表す言葉と理由）でうまく伝えられている場面を教師が役割演技で示している二つのVTRを見比べることで、自分の気持ちを伝えるためには、「表情」、「言葉」（気持ちを表す言葉、理由）が必要だということに気付くことができるようにする。その際、「落ち着いて」、「はっきりと」、「相手を見て」という三つのポイントも確認することで、相手に分かりやすく伝えることも意識できるようにする。また、題材全体の内容をレベル分けして学習していくことを確認することで、今後の学習の見通しをもつことができるようにする。レベル1では、示された場面に合う表情を考える活動を通して、気持ちを表すには、どんな表情をするのか知ることができるようにする。この活動で使用した表情と気持ちを表す言葉が示された「こんな気持ちカード」を在籍学級や家庭で活用してもらうことで、自分の気持ちを伝えられないときに、このカードを出して自分の気持ちを伝えることができるようにする。レベル2では、示された場面に合う気持ちを表す言葉を考え、「言葉」で表す活動をすることで、言葉でどのように自分の気持ちを表せばよいかを知ることができるようにする。その際、「運動会で優勝したから、うれしいです。」などのように、気持ちを表す言葉と理由を合わせて言うことができるようにすることで、自分の気持ちを「言葉」で表現できるようにする。レベル3では、実際にゲームをしたときの自分の気持ちを伝える活動を通して、今の自分の気持ちを考え、「表情」と「言葉」で伝えることができるようにする。なお、これらの活動の際には、相手に分かりやすく気持ちを伝えるときのポイントを提示し、子どもが繰り返し活用することで、相手を意識しながら「表情」と「言葉」を使って気持ちを伝えることができるようにする。

これらの学習を通して、友達や周りの人とのかかわりの中で自分の気持ちを「表情」と「言葉」で伝えることの良さを味わうことができると考える。また、どうしてこの気持ちになったのか理由を考えることで、自分の気持ちを理解することができるようにする。このような活動を通して、在籍学級や家庭でも自分の気持ちを「表情」、「言葉」で相手に分かりやすく伝えようとする姿につながり、自分のことを相手に理解してもらえたという満足感を得ることができるように考える。このことは、子どもの自己肯定感を高め、友達や周りの人ともっとコミュニケーションを図っていこうとする意欲を育むとともに、子どもの豊かな生活につながっていくものと考えられる。

(2) 子どもの実態

		A児(3年男子)	B児(3年男子)	C児(3年女子)	D児(3年女子)
教育的ニーズ		<ul style="list-style-type: none"> 相手を意識して、自分の気持ちを伝えられるようになること。 自分の気持ちを行動ではなく言葉で伝えられるようになること。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の気持ちをコントロールできるようになること。 思い通りにならないときでも、自分の気持ちを言葉で伝えられるようになること。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の気持ちを自分の言葉で伝えられるようになること。 自分の苦手な活動をするときでも、意欲的に活動しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の気持ちをコントロールできるようになること。 友達とのかかわりの中で、自分の気持ちを言葉で伝えられるようになること。
心理的な安定		<ul style="list-style-type: none"> 楽しい気持ちやうれしい気持ちが大きくなりすぎると、自分の気持ちを抑えきれなくなることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達や教師に指摘されたり、自分の思い通りにならないと、気持ちが不安定になることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 普段は、明るくこやかだが、自分の苦手なことや思い通りにならないときには、学習意欲が低下してしまうことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> いつもにこやかで何事も頑張るが、友達と関わる中で納得できないことがあると、気持ちが不安定になることがある。
人間関係の形成	他者とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 自分から相手に声を掛けることができるが、口調が強くなってしまっていることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 気持ちが安定しているときには、相手のことを考えたり、優しく接したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と積極的に関わり、相手の考えを受け入れることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 周りの人と笑顔で関わるが多いが、自分の考えが通らないと人を強い言葉を使ってしまっていることがある。
	自己の理解と行動の調整	<ul style="list-style-type: none"> 状況の把握ができずに、自分のペースで進めようとするところがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えていることを相手に理解してもらえないと、大きな声を出すところがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 周りの友達の考えをよく聞いたり、受け入れたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思い通りにならないところがある、活動に対して意欲的になれないところがある。
コミュニケーション	基礎的能力	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えが言葉でうまく伝わらないと、体を動かして表現しようとするところがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉で考えを伝えられないときには、指で差して考えを伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 不安なことがあると表情がこわばってしまうところがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達の考えに賛成するときに、笑顔で自分の意思を表現することができる。
	言語の受容と表出	<ul style="list-style-type: none"> 言葉でのやりとりはできるが、話し出すと一方的になることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達に何かを教えたり、話し合いをするときは、おだやかにやりとりができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 周りの反応が気になり、自分の考えや気持ちを言えないところがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをもっているだけでも、どのような言葉で表現すればよいか分からないところがある。

4 指導に当たって

- 「自分事の問い」をもたせる教材・教具【しかけ1】
 - ・ 本題材での学習内容を示した題材マップを活用することで、活動への見通しをもたせるとともに、本時のめあてを明確にできるようにする。
 - ・ ビンゴの表をデジタルコンテンツで提示することで、気持ちを伝える活動への意欲を高めることができるようにする。
- 「自分事の問い」につなげる発問【しかけ2】
 - ・ 「気持ちを伝えるときに大切な三つのポイントは、何だったかな。」と発問することで、相手に分かりやすく気持ちを伝えるときに、どんなことに気を付ければいいのかを思い出し、見通しをもつことができるようにする。
 - ・ 「気持ちを伝えるときに頑張りたいことは何かな。」と発問をすることで、個人のめあてをもつことができるようにする。
 - ・ 「うれしい気持ちになるのは、どうしてかな。」などと発問することで、その気持ちになるときの理由を考えることができるようにする。
- 「自分事の問い」をふかめる場【しかけ3】
 - ・ ゲームをした後に、うれしい、楽しい、悔しいなどの気持ちを表す言葉のカードを選ばせ、理由を考えさせることで、今の自分の気持ちを伝えることができるようにする。
 - ・ 友達の発表を聞き、気持ちが伝わったと感じたときには、「いいねカード」を示すことで、お互いの考えを認め合うことができるようにする。
- 「自分事の問い」をひろげる連携【しかけ4】
 - ・ あげぼのノート(連絡ノート)や「自分の気持ち伝えたよカード」を活用することで、在籍学級や家庭でも自分の気持ちを伝えることができたという成功体験を積むことができるようにする。

5 指導計画(総時数6時間)

次	時間	指導のねらいと主な活動内容	自分事の間い
一次	1	<p>「気持ちの伝え方を考えよう」</p> <p>【指導のねらい】 気持ちを相手に分かりやすく伝えるためには、「表情」、「言葉」(気持ちを表す言葉、理由)が必要であることを考えることができる。</p> <p>【活動内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 気持ちをうまく伝えられていないVTRを見て、気付いたことを話し合う。 2 気持ちをうまく伝えているVTRを見て、気持ちの伝え方(「表情」、「言葉」)を考える。 3 気持ちを伝えるときのポイント(「落ち着いて」、「はっきりと」、「相手を見て」)を確認する。 4 ゲームをして、自分の気持ちを伝える。 5 これからの学習で頑張りたいことを考える。 	<p>最初のVTRでは、気持ちが相手に伝わらないな。</p> <p>自分の気持ちを伝えるためにはどうしたらいいかな。</p> <p>ぼくも自分の気持ちを伝えられるようになりたいな。</p>
二次	1	<p>「レベル1 どんな表情か知ろう」</p> <p>【指導のねらい】 気持ちを表すにはどんな表情をするのか知ることができる。</p> <p>【活動内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 相手に分かりやすく伝えるためにポイントを確認する。 2 示された場面の気持ちに合った「表情」を考える。 3 「こんな気持ちカード合わせ」で、場面カードと表情カードを合わせる。 4 活動をした気持ちを発表する。 	<p>どんな表情で気持ちを伝えられるかな。</p> <p>うれしいときはにっこりすれば伝わりそうだな。</p>
三次	2	<p>「レベル2 言葉で表そう」</p> <p>【活動のねらい】 「言葉」で気持ちを表現することができる。</p> <p>【活動内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「言葉」での気持ちの表し方や相手に分かりやすく伝えるためのポイントを確認する。 2 「どんな気持ちすごろく」をする中で、「言葉」で気持ちを表す。 3 活動をした気持ちを発表する。 	<p>友達に順番をゆずってもらったときは、どんな気持ちかな。</p> <p>「優勝したからうれしい。」と言ったらよさそうだな。</p>
四次	2(本時1/2)	<p>「レベル3 表情と言葉で伝えよう」</p> <p>第1時「クレーンゲーム(二人)」 第2時「クレーンゲーム(四人)」</p> <p>【活動のねらい】 ゲームをしたときの自分の気持ちを、「表情」と「言葉」で相手に分かりやすく伝えることができる。</p> <p>【活動内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 気持ちの表し方と相手に分かりやすく伝えるためのポイントを確認する。 2 クレーンゲームをする。 3 ゲームをしたときの自分の気持ちを「表情」「言葉」で伝える。 4 気持ちビンゴに印を付ける。 5 活動をした気持ちを発表する。 	<p>今の自分の気持ちは、今までの方法で伝えられるかな。</p> <p>にっこりして理由まで言うとうれしい気持ちが相手に伝わったよ。</p> <p>クラスみんなと遊ぶときも気持ちを伝えてみよう。</p>

家庭や在籍学級との連携

目 標
<p>【家庭】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭で自分の気持ちを「表情」と「言葉」で伝えることができる。 <p>【在籍学級】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 友達とのかかわりの中で、自分の気持ちを「表情」と「言葉」で伝えることができる。

連 携
<p>【家庭】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「こんな気持ちカード」や「言葉」を使って、自分の気持ちを伝えることができたときに称賛してもらおう。 ○ 「自分の気持ち伝えたよカード」で、自分の気持ちを伝えることができたときのことを記録してもらおう。 <p>【在籍学級】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「こんな気持ちカード」や「言葉」を使って、自分の気持ちを伝えることができたときに称賛してもらおう。

6 本 時(5/6)

(1) 目 標

○ ゲームをしたときの自分の気持ちを、「表情」と「言葉」(気持ちを表す言葉、理由)で相手に分かりやすく伝えることができる。

個人 目標	A児	相手を意識して、落ち着いて自分の気持ちを伝えることができる。
	B児	落ち着いて、相手に聞こえる声で自分の気持ちを伝えることができる。
	C児	勝っても負けても、自信をもって自分の気持ちを伝えることができる。
	D児	勝っても負けても、落ち着いて自分の気持ちを伝えることができる。

(2) 展 開 ○数字は「自分事の間い」に対するしかけ(①教材・教具 ②発問 ③場 ④連携) ☆はICT活用の留意点 は「自分事の間い」

過程 (分)	主 な 学 習 活 動	子どもに応じた具体的な指導			
		A 児	B 児	C 児	D 児
つか む・ 見 通 す (10) 活 動 す る (30) 振 り 返 る (5)	1 前時までの学習について振り返り、気持ちを伝えるときに大切なポイントを確認する。 「落ち着いて」、「はっきりと」、「相手を見て」	② 「気持ちを伝えるときに大切な三つのポイントは、何だったかな。」と発問することで、気持ちを伝えるときにどんなことに気を付ければいいのかを思い出すことができるようにする。 ④ 表情と言葉で気持ちを伝えることができ、在籍学級や家庭で称賛されたことを思い出させることで、本時の活動に意欲をもつことができるようにする。			
	2 在籍学級や家庭で、気持ちを伝えられたときの話を する。 3 本時のめあてを確認する。 (1) 本時のめあてを考える。 「表情」と「言葉」で自分の気持ちを伝えよう。	① 題材マップを活用することで、活動への見通しをもたせるとともに、本時のめあてを明確にできるようにする。 ② 「気持ちを伝えるときに頑張りたいことは何かな。」と問い掛けることで、自分のめあてを明確にできるようにする。 ③ ゲームをした後に、気持ちを表した言葉のカードを選ばせ、理由を考えさせることで、今の自分の気持ちを伝えることができるようにする。			
	(2) めあてを声に出して読む。 (3) めあてをワークシートに書き写す。 (4) 「今日がんばること」を確認する。 4 活動の流れを確認する。 5 実際にゲームをする。 (1) クレーンゲームをする。(二人組で) (2) 気持ちを表す言葉カードを選ぶ。 (3) 自分の気持ちを伝える。 (4) ビンゴに印を付ける。 ※ (1)～(4)を二回行う。 楽しい気持ちが伝わったぞ。	② 「今日は誰に伝えようかな。」と問い掛けることで、相手を意識できるようにする。 ② 「ボリューム何なら相手に聞こえるかな。」と問い掛けることで、声の大きさを意識できるようにする。 ② 「その気持ち分かるよ。」と考えを受け入れることで、自分の考えに自信をもつことができるようになる。 ① 発表話型に沿って考えさせることで、冷静に自分の気持ちを相手に伝えることができるようにする。			
	6 本時を振り返り、感想を発表する。 7 次時の活動について知る。	② 「うれしい気持ちになったのはどうしてかな。」「どんな表情かな。」などと問い掛けることで、「表情」と「言葉」(気持ちを表す言葉、理由)を意識して発表できるようにする。 ①☆ ビンゴの表をデジタルコンテンツで提示することで、様々な気持ちを伝えてみたいという意欲をもつことができるようにする。 ③ 友達の発表を聞いたときに、「いいねカード」で伝わったことを示すようにすることで、お互いの考えを認め合うことができるようにする。 ② 「うれしいときは、どんな表情をするかな。」と問い掛けることで、表情で表すことにも意欲をもつことができるようにする。 ③ 本時の活動を振り返らせることで、活動をした自分の気持ちを伝えたり、お互いのよかったところを認め合ったりして、今後の活動に意欲をもつことができるようにする。			